



令和5年3月10日第 117号

発行……社会福祉法人
鎌ヶ谷市社会福祉協議会
〒273-0195
鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1
総合福祉保健センター5階
TEL.047-444-2231
FAX.047-446-4545



令和5年2月8日(水)、鎌ヶ谷市きらりホールにて、地域福祉活動の向上と社会福祉に寄与された方々へ、敬意と感謝の意を表することを目的に「第23回鎌ヶ谷市社会福祉大会」を開催しました。

今大会では、地区社協活動やボランティア活動等を永年続けてこられた皆様に表彰状を、社会福祉増進の為に多大なる寄付等をいただきました関係者様には感謝状を、それぞれ本会徳田会長より贈呈し、その功績をたたえました。

また、記念講演として、日本エンディングサポート協会の佐々木悦子氏に、「やさしい終活～人生のしまい方～」について講演をしていただきました。

福祉関係者をはじめ、たくさんの市民の方々にご参加いただき、盛大に開催されました。



祝

おめでとーございます

(敬称略・順不同)

功労表彰〈個人〉

菅野勝利、若槻博隆、川村浩幸、福澤明二、小林存祐、高橋寛、九谷林太郎、三浦弘、小金谷正男、中野洪、飯高優子、齊藤美和治、渡邊幸一、古川幸弘、森川則子、加藤美恵子、石田涼子、植田妙子、佐藤勝久、永田孝枝、定永一恵、畑佐正之、大崎伸吾、鈴木孝子、池上良一、渡辺明子、長濱喜代子、古谷裕子、野本和子、渡辺真知子、中尾陽子、小林幸雄、沼中辰美、酒井利江、皆川ひろみ、恩田美智子、青山敏子、尾花晴美、高橋祥子、清水邦明、鈴木尉、蔭山きよ子、岩下和子、高柳武平、藤吉峰夫、坂本昌枝、田中幹雄、吉澤邦彦、川村順子、小島正實、

齊藤征夫、高木和彦、矢吹功、鈴木和子、渡部臣道、池田ケイ子

感謝状〈寄付関係〉

石神市太郎、西坂正吉、萩原博司、竹内久子、(故)宮川勝馬、花まつりをもっと身近にキャンペーン、株式会社ヤマシナ商事、南初富連合自治会

感謝状〈会費関係〉

株式会社中村塗工、富士興運株式会社、株式会社北総美装、鎌ヶ谷巧業株式会社、横尾電設株式会社

制服リユース



この春、中学校を卒業される皆様へ。思い出の詰まった制服を捨ててしまうのはもったいない！あなたの制服を後輩へバトンタッチしませんか？制服リユースも6年目になり、令和5年1月末現在1645点の制服を譲っていただき、823世帯の方が利用されています。ご協力をお願いします。



在庫情報はいつでも

※最新の在庫状況は、お電話にてご案内しています。

すまいる祭りのご報告

今年の『すまいる祭り』は10月14日から12月12日の間、アクロスモール、中央公民館、ショッピングプラザ鎌ヶ谷、市役所1階市民ホールの4か所の順に、市内11か所の就労継続支援B型事業所のパネル展示を行いました。多くの方に見ていただくことができ、展示を通じた学びの場、出会いの場になりました。

多くの方に、障がい者福祉を理解してもらうために、すまいるクイズをパネル展示しました。全問正解者の中から抽選で10名の方に、市内いちご農家のご協力で鎌ヶ谷産いちごを贈呈しました。(応募者108名)

〈すまいるクイズ〉

Q1 次のうち、手や足など体に障がいがある人のために考えだされたパラリンピックの正式種目はどれでしょう。イタリア語で「ボール」を意味し、白・赤・青の革製のボールを使います。

- ①ビリヤード ②ポッチャ ③ペタンク

Q2 エレベーターの中にある大きな鏡は何のためにあるでしょう。

- ①髪の毛や洋服など身だしなみを整えるため
②車いすの人が後ろ向きで出るときに後方を確認するため
③狭いエレベーターの中を広く見せるため

Q3 耳の不自由な人とお話をしたり、気持ちを伝えあったりする方法のひとつに手話があります。手話の説明として正しいのは、どれでしょう。

- ①手話を使う人は耳がまったく聞こえない人だけである
②日本で使われている手話は外国でも同じように使える
③手話がわからない時に、紙に文字を書いて伝える筆談という方法がある

※クイズの答えは右下にあります。



中央公民館での展示



ショッピングプラザ鎌ヶ谷での展示

すまいるクイズの答え Q1…② Q2…② Q3…③

善意銀行

ありがとうございました

令和4年10月17日～令和5年1月20日
(敬称略・順不同)

寄付者	使途	金額・品名
鎌ヶ谷市ダンススポーツ協会	福祉のために	22,000 円
多田 正幸	福祉のために	50,000 円
株式会社ヤマシナ商事	福祉のために	102,470 円
生活応援サービスあおい海	福祉のために	5,000 円
(故) 宮川 勝馬	福祉のために	100,000 円
南初富連合自治会	高齢者の配食活動のために	80,000 円
茂野製麺株式会社	高齢者の配食活動のために	手折そば 100 食分

寄付者	使途	金額・品名
菅澤 はな子	福祉のために	23,000 円
鎌ヶ谷市陶芸クラブ	福祉のために	10,000 円
匿名	福祉のために	10,000 円
匿名	ひとり親世帯支援のために	100,000 円
石神 市太郎	福祉のために	100,000 円
匿名	福祉のために	60,200 円

成年後見制度・ 遺言個別相談会 のご報告

今年度も好評につき、市内7カ所で、11月に7回、12月に1回、計8回の成年後見制度・遺言個別相談会を実施しました。昨年度に続き身近な会場で専門家の司法書士に無料で相談できるとして、大変好評をいただきました。

来年度の相談会の予定につきましては、開催日が決まり次第「鎌ヶ谷社協だより」や「広報かまがや」などでお知らせいたします。たくさんのお申し込みをいただき、ありがとうございました。

災害派遣報告

令和4年台風第15号災害に伴い、静岡市災害ボランティアセンター（清水区センター）の運営支援スタッフとして鎌ヶ谷市社会福祉協議会の山口職員を派遣しました。令和4年11月2日から11月6日の5日間にわたり、現地でのボランティアの受け入れをする受付班として活動しました。受付手続きにQRコードを利用しているため、ボランティアの受け入れをスムーズに行えました。

今後は災害ボランティアセンター派遣での経験や知識を鎌ヶ谷市のために活かしていきます。

災害VC立ち上げ訓練

令和4年10月29日に、参集とオンラインで総勢39名の方が災害ボランティアセンター立ち上げ訓練に参加しました。

当日は災害派遣の経験がある千葉県社会福祉協議会の平野氏を講師としてお招きし、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターに携わる必要性や活動の内容等について講演がありました。また、鎌ヶ谷市の災害ボランティアセンター運営マニュアルについて情報を共有しました。

今回の訓練を経て、ボランティアセンターへの理解と備えについて改めて学び、地域や各機関との連携を密にすることが大切との話がありました。



みなさまの会費が「地域の福祉」を支えています

鎌ヶ谷市社協では、市内に住む方々が会員となり、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのために、行政・団体・施設等と協力しながら、地域福祉を推進しています。事業を進めるための主な財源は、補助金、会費、共同募金ですが、会費は重要な自主財源であり、社協事業の運営を支えています。

令和4年度：一般会費（自治会）	8,226,530円
会費加入状況 法人会費	549,000円
施設団体会費	283,500円
総 合 計	9,059,030円

（令和4年度1月末現在）

※一般会費の約25%は各自治会の福祉事業費として活用されています。



かま福 大仏さま

日常生活自立支援事業のご案内

～高齢者や障がいのある方の暮らしを守るお手伝いをしています！～

ご利用に必要な契約内容が理解できる方と社協が利用契約を行い、福祉サービスの提供をしています。

サービスの内容

①福祉サービスを利用するためのお手伝い

- ・福祉サービスの内容や利用手続きについて、分かりやすく説明します。
- ・福祉サービスを利用したりやめたりする手続きをお手伝いします。
- ・福祉サービス利用での苦情解決制度を利用する手続きについてお手伝いします。

②ふだん使うお金の出し入れや支払いについてのお手伝い

- ・福祉サービスの利用料や公共料金等の支払い代行をします。
- ・生活に必要な預貯金の払い戻しや預け入れの手続きをします。

③大切な書類のお預かり

- ・年金証書、印鑑（銀行印、実印）、預貯金通帳等を預かります。

利用料金

- ◇会 費 月額 300円
大切な書類のお預かり 月額 250円（別途必要となります）
- ◇利用料金 1時間 30分まで 1,000円（以降30分毎 500円）

福祉サービス案内

「必要な相談・情報・支援が得られるしくみ」を促進するために、地区社会福祉協議会では「福祉サービス案内」を行っています。

福祉にかかわる情報を知りたい時や行政等の相談窓口がわからない時には、ご相談ください。専門機関、窓口などをご案内いたします。

車いすの
貸し出し

■中央地区	TEL 442-5145	○
■中央東地区	TEL 442-5144	○
■東部地区	TEL 442-5141	○
■西部地区	TEL 047-389-6061	○
■南部地区	TEL 442-5143	○
■北部地区	TEL 442-5142	○

時間はいずれも火～土曜日 9時～16時
祝日はお休みです。



【広告】

ねんりんピック愛顔のえひめ 2023

第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭 2023

健康マージャン交流大会地区予選

日 時 3月19日（日）、4月2日（日）・16日（日）、5月28日（日）
いずれも11時半スタート
参加費 2300円（60歳未満1800円・5月28日は全員1800円）
資 格 千葉県在住・ねんりんピックのみ60歳以上
会 場 NPO健康マージャンやまがクラブ事務局（松戸市常盤平2-9-6第5石川ビル2階）
申込み・問合せ 千葉県健康マージャン文化交流推進協会
幹事 NPO健康マージャンやまがクラブ
090-8583-1506（徳光）



広告募集



鎌ヶ谷市社会福祉協議会では、「鎌ヶ谷市協だより」に広告掲載企業を募集しています。全戸配布のメリットをいかして宣伝してみませんか？

- 年3回発行（7月・11月・3月）
- 掲載料1万円（寸法90mm×50mm）
- 全戸約32,000部配布
- 詳細はホームページにも掲載されています

お問合せ先 ▶ ☎ 444-2231（社会福祉協議会事務局）

ご協力いただきありがとうございました



～赤い羽根募金の70%、歳末たすけあい募金は100%が私達のまちで活かされました～

●赤い羽根募金は、千葉県内の民間社会福祉施設・福祉団体等に配分されました。また鎌ケ谷市内の各種ボランティア団体・福祉団体・小中学校の福祉活動への助成、6地区社協活動など地域福祉の推進に役立てられました。(令和5年1月現在)

赤い羽根募金	総額 5,561,302円
戸別募金(41自治会)	4,489,769円
学校募金(市内の小・中・高校13校)	172,890円
法人募金(会社・商店等 212件)	709,008円
職域募金	72,559円
その他(各窓口募金箱など)	117,076円

災害義援金は被災地へ(令和5年1月現在)

- 令和4年台風第15号災害静岡県義援金 20,000円(1件)
- *義援金に関するお問い合わせ: 中央共同募金 (www.akaihane.or.jp)

●歳末たすけあい募金は、新年を迎えるにあたり支援を必要とする人たちが鎌ケ谷市内で安心して暮らせるために、また障がい者団体・小規模作業所などの啓発活動などに配分することができました。(令和5年1月現在)

歳末たすけあい募金	総額 2,852,134円
戸別募金(39自治会)	2,636,134円
その他(個人・団体)	216,000円
(配分内容)	配分総額 3,197,330円
(1)生活困窮者見舞金支給事業	936,000円
(2)緊急的生活支援事業	397,680円
(3)福祉ニーズへの支援事業	398,655円
(4)災害関連事業	58,109円
(5)社会福祉施設助成金事業	720,000円
(6)福祉関係団体助成金事業	160,000円
(7)地域・在宅福祉事業	526,886円

心配ごと相談所

～悩みがある方・困っている方へ～

「どこに相談したらいいかわからない」「話を聞いてほしい」など。

まずは一度電話で話してみませんか？

○心配ごと相談(生活全般)【予約不要】

毎週水曜日

○心の相談(心の悩み)【要予約】

毎週月曜日・金曜日

【時間】

午前10時から14時

*相談専用電話 ☎ 047-444-6921

*予約及び問合せ ☎ 047-444-2231

※現在はコロナ下の為、電話相談のみ。
祝日はお休みです。

相談
無料

秘密
厳守

電話
相談

在宅介護者のつどい

～お気持ちを共有しませんか？～

ご自宅で要介護状態の家族を介護している皆さん、リフレッシュや情報交換を目的としたつどいに参加してみませんか？介護から離れて体操や手工芸などでリフレッシュをしたり、日頃の悩みを共有したり、ご自分のためのほっとできる時間としてご利用下さい。看護師による健康相談もおこなっています。興味のある人へ、毎月ご案内を送付します。

令和5年度開催予定 ※要事前申込み: 047-444-2231

4月27日(木)	お話の時間 10:30~12:00 (介護体験意見交換)
5月30日(火)	フラワーアレンジメント・ 10:30~12:00 お話の時間
6月19日(月)	バスハイク
7月21日(金)	軽体操・お話の時間 10:30~12:00



場所: 総合福祉保健センター

※毎月1回開催を予定していますが、情勢により変更・中止となる場合があります。

ふれあいサービス 会員募集

～住み慣れた地域で自立した生活を送るために～

『ふれあいサービス』とは、家事や介助にお困りの事情がある人へ、地域の中から参加した人が家事支援サービスを有償で提供する会員制の“たすけあい活動”です。

会員登録	年会費 1,000円(利用・協力ともに必要です)	利用料	1時間あたり 700円
会員の種類	利用会員	高齢者、産前産後の人、障がいがあり家事や介助にお困りの人	
	協力会員	サービスの趣旨を理解し活動できる人。誰かのために家事・育児の経験を活かしませんか？(掃除・買い物代行・食事作りなどの家事支援が主なサービスです) 感染対策に配慮した活動です。 登録説明会: 4月13日(木) 10時~12時※要事前申込み	



ふれあい
サービス
HP

ふれあいサービス: 047-444-2231

生活支援体制整備事業

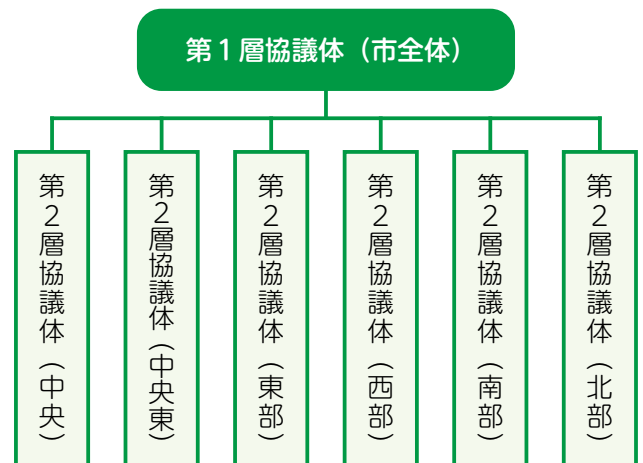
地域みんなで協力しながら暮らせる地域づくりのために

高齢になっても、介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく生活するために、鎌ケ谷市社会福祉協議会では、平成30年度より鎌ケ谷市からの委託を受けて、地域包括ケアシステムの一部である「生活支援体制整備事業」を推進しています。

市内6コミュニティエリアに生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の誰もが住み慣れた地域で、生きがいをもって在宅生活を継続できるよう、「介護予防」と「生活支援」に重点を置き、「協議体」という住民の方々主体の話し合いの場を設置しています。



鎌ケ谷市における 第1層協議体と第2層協議体



「協議体」の構成例（イメージ図）

現在、協議体のメンバーは、自治会、民生委員児童委員、地域包括支援センター、鎌ケ谷市、社会福祉協議会などで構成されています。話し合い内容や地域により、構成メンバーが異なるのも「協議体」の特徴です。

また、協議体には、協議体の運営や地域資源の把握、資源と資源を必要としている人とのマッチング、その他コーディネートを担当する「生活支援コーディネーター」が配置されています。

- ※鎌ケ谷では、市全体として第1層協議体を設置しています。第1層協議体では、第2層協議体では解決に至らないような広範囲な課題について、報告や検討をしています。
- ※鎌ケ谷市社会福祉協議会では、より身近な地域についての話し合いを第2層協議体として行っています。

第2層協議体、コーディネーターの配置・構成例



研修会を開催

1月18日（水）に各地区の取組を学び、活かしていくため、講師を招き研修会を開催しました。

協議体委員、自治会、民生委員児童委員、地区社協関係者、地域包括支援センター、行政職員など、多くの方が参加し、学びを深めました。



◇地域住民も、専門職も、行政も、一緒に住みやすい地域を目指して取り組んでいます◇

鎌ヶ谷市における第2層協議体の取り組み

中央地区第2層協議体

中央地区協議体では、地域の課題について協議したところ「コミュニティの希薄化」と「高齢者の虚弱化」が挙げられ、課題に対応するために「地域のつながりの強化」、「高齢者の虚弱化への対応」に貢献する事業について話し合いました。

鎌ヶ谷市にはプロ野球球団「日本ハムファイターズ」の2軍があり、野球に関心がある市民が多いと考えられることから、高齢者の介護予防でも活用されている屋内ゲーム「リアル野球盤」を活用することになりました。具体的な実施については現在計画中ですが、高齢者の体力の維持やコミュニティの強化につなげたいと考えています。



中央東地区第2層協議体



中央東地区協議体では、東武鎌ヶ谷自治会を中心に話し合いを重ねています。

「困ったときに身近で相談できる場がほしい」「自治会館をもっと活用したい」との意見から、東武鎌ヶ谷自治会館を活用して「健康チェック Day」を開催しました。

「健康チェック Day」の当日は、初富保健病院の協力のもと、骨密度や握力、足指力など合計8項目の健康チェックをおこないました。また、保健師や地域包括支援センターの職員による無料相談も開催し、多くの方に参加していただきました。

今後は、定期的な健康チェック Day の開催と、中央東地区全体での取組に向けて話し合いを進めていく予定です。

東部地区第2層協議体 「東部おたがいさまの会」

東部地区協議体では、高齢者の方が歩いて交流の場に参加することにより、体力の維持や人とのかわりの機会を持っていただきたいという思いから「小規模談話室（通称：クローバー）」を、地区内に複数設置することを目標に活動しています。

令和4年に鎌ヶ谷コミュニティセンターで試験的に開催したクローバーでは、ボッチャで体を動かしたり、おしゃべりタイムで楽しいひと時を過ごしました。令和5年も開催場所を変更しつつクローバーを開催する予定です。





西部地区第2層協議体

西部地区協議体では、住んでいてよかったと思える地域づくりのため「声かけ隊」を令和3年5月より実施しており、現在までに計40回の活動をしています。「声かけ隊」では、地域の見守りや安否確認、空き家の確認を行っています。また、外出のきっかけづくりや居場所づくりに「ベンチがあるといい」というご意見をいただき、北初富に1カ所、くぬぎ山に2カ所、ベンチ（声かけベンチと命名）を設置しました。

令和5年度からは北初富地区での体操教室の実施に向けて検討しています。



南部地区第2層協議体 「南部ささえあい協議体」

南部地区協議体では、「誰もが参加できる出張イベント」の開催と「ちょっとした困りごと」への対応について話し合いを重ねています。

出張イベントは、南部公民館や北中沢コミュニティセンターなどで開催しており、これまでに漢字講座や肖像写真の撮影会を行いました。地域の方やボランティアなど、みんなで作り上げています。また、ちょっとした困りごとへの対応については、南部地区社協事業である「なんぶ孫の手会」と連携を取りながら進めています。

皆さんの「好きなこと、得意なこと」を地域で発揮してみませんか？
お気軽に生活支援コーディネーターまでご連絡ください。
(442-5143 南部地区社協内)

北部地区第2層協議体 「たすけあい活動あさか」

北部地区協議体では「向こう三軒両隣の輪を広げよう」をテーマに協議体活動を行っています。

7月15日に認知症予防を目的とした寸劇を開催し、11月10日には「命をまもる救命講習」を、赤十字救急指導員を講師に招いて開催しました。両日程とも参加者同士の交流の時間としてお話し会を設けました。今後もお話し会等を通じて、北部地区全体で顔見知りが増え、支えあうことができる風土の醸成を行っていきます。



西部小学校 福祉体験

11月25日(金)実施

5年生 78名を対象に新型コロナ感染予防に努め、車いす、高齢者疑似体験、パラリンピック正式種目「ボッチャ」の体験をととして、「老いること」「障がいがあるということ」など福祉への関心を深めるとともに、参加したボランティアとの交流も楽しみました。

協力：ゆうゆう四季の会、鎌ヶ谷市レクリエーション協会、西部小5年生の保護者のみなさん、西部地区社協



ボッチャゲーム



車いす体験



高齢者疑似体験



体育館でそれぞれ体験

ボランティア入門講座

鎌ヶ谷市レクリエーション協会 1月25日(水)実施

市のイベントや地域での昔遊び、年齢問わず楽しめるディスコンやパラリンピック正式種目のボッチャの指導など市内で活動している通称「鎌レク(かまれく)」の体験を通して、福祉活動への関心を深め、地域社会デビューを目的に開催しました。

会員のアイスブレイクにより、コミュニケーションのとりやすい雰囲気の中、ボッチャの体験や会場に用意された活動メニューを紹介しました。

今後は、この“出会い”を大切に育んでいきたいと思います。



年間の活動紹介



活動紹介コーナー



アイスブレイク体験



ボッチャの体験

ボランティアデビュー

鎌ヶ谷朗読「はなしの小箱」で活動を始めたボランティアさん(60代女性)

私の叔母は米寿の今も、絵本の読み聞かせを続けています。憧れの叔母です。「はなしの小箱」を知った際、叔母に背中を押された気がして入会しました。

そして講習を受ける中で、自分の無知や声が出ない等々、不安が多くなりました。ですが、それ以上に毎回新しい発見があり、知る喜びがありました。また、経験豊かな諸先輩方が、今なお、日々努力されている姿に驚きました。見習っていききたいと思います。一歩でも近づけるよう、練習し、自分磨きをしていく中でほんの少しでも、何かの役に立てよう頑張りたいと思っています。

※鎌ヶ谷朗読「はなしの小箱」の会員募集は毎年3月に活動説明会・講習会(全4回)を実施しています。

毛糸のご協力ありがとうございました

昨秋、“社協だより”をととして不要な毛糸のご協力を呼びかけましたところ、たくさんの毛糸が寄せられ、高齢者施設等へ贈るための“あったかグッズ”作成に取り組んでいます。



毛糸の仕分け



作品の一部紹介

集めています

ボランティアグループや施設で活用されます。ご協力をお願いいたします。

- ・使用済み切手 ・花の苗や種
- ・ウエス用布(不要になったシャツやゆかた、シーツなどの布類。布地は、裁ちばさみで裁断できる厚さ)

カットされたウエスはどこへ?

市民から提供された浴衣やTシャツなどは、ハンカチサイズに裁断して、市内高齢者施設へお届けし、活用されています。

また、ご希望の施設等へもお配りしますので、ご連絡ください。



切手の切り取り方について

封筒やハガキに貼ってある切手は剥がさず、できれば消印スタンプが残るようにまわりを切り取ってください。「メータースタンプ」とも呼ばれている「証紙」も収集しています。



ボランティアセンター

通信

総合福祉保健センター5階

問い合わせ TEL(442)2940

FAX(446)4545

開所時間

月～金曜日:午前9時～午後4時

ボランティアまめ知識

ボランティアセンター登録状況

(令和5年1月末)

- ・団体(33団体) 919名
- ・個人ボランティア 154名
- ・合計 1,073名

ご案内

鎌ヶ谷ボランティアサークル たんぽぽ

当団体は、高齢者施設の清掃や利用者さんの手伝い、福祉施設での保育や行事のお手伝いなど、施設ボランティアグループとして、昭和60年発足しました。

現在は、市内の保育園や福祉施設などからの依頼による布製品の作成、玩具や日用品(布製品)を制作しています。



牛乳パックを利用した丈夫なイス



布製のおもちゃ

布製品に限り、依頼を受付けていますので、ご連絡・ご相談ください。

自然災害の被災地におけるボランティア活動保険の加入・更新手続きについて

保険プランは、基本プラン350円と天災・地震補償プラン500円、特定感染症重点プラン550円があります。加入手続きは、3月末よりボランティアセンターにて受付けます。補償期間は4月1日～令和6年3月31日、中途加入の場合は加入手続き完了後から令和6年3月31日となります。

詳細は“ふくしの保険”ホームページでも確認できます。



ふくしの保険